

パネルセッション①「共生社会のための日本語教育」④

共生社会のための日本語教育実践 としての本質観取

稲垣 みどり

(山梨学院大学)

2020日本語教育学会秋季大会

「共生社会のための日本語教育」の実践例

本質観取とは

▶現象学（phenomenology）の原理に基づく

現象学：ドイツの哲学者、エドモント・フッサール（1859～1938）の提唱した学問領域
重要な認識論の原理。人間の認識はどのように構成されるのか、徹底的に考究。
認識の内側から一人一人異なる人間の「生」の在り方の根源に迫る学の体系
重要概念：現象学的還元、判断保留（エポケー）、本質学と事実学、間主観性

▶本質観取：現象学の原理の方法化

「ある概念の核心的な意味を、自らの経験を反省することによって、また同時に
自由な想像によって、「言葉」として取り出す言語ゲーム」（Iwachi 2016）



わかりやすく言うと「〇〇とは何か」という命題で言語概念の本質を規定すること

言語教育における本質観取

言葉(概念)の本質(意味)を、自分の体験や内省によって取り出し、対話によって他者と検証しあうことにより、間主観的な共通了解を形成していこうとする試み。



価値観の異なる人々が信念対立を乗り越えてともに生きるため
(共生社会のための) 日本語教育 (言語教育) の実践として、
意義のある実践である

【某大学の多国籍の留学生クラス（英語学位プログラム）】

【手順】 ① 1 コマ90分、学生数10人前後、レベル：上級1, 2

1. 学生に現象学の原理を簡単に説明する。

（レベルに合わせた語彙および文法を使用して説明）

2. 学生に共通の関心に基づくトピック(例: 恋、命、先入観など) を学生とともに選ぶ。

※今までの日本語の学習を振り返り、学習した抽象語彙の中から、自分の関心のある語彙や、理解が不十分だと自分が感じる語彙を学生から挙げさせる。（トピック選びは前回の授業で選んでおくといい）

3. クラスを3人～4人のグループに分ける。

※全体で、2～4ぐらいのグループができるとやりやすい。

【手順②】

4. グループごとに、選んだ語の「意味」を定義する。その際、与えられた知識としての「意味」を一旦判断保留(エポケー)し、自分の経験を振り返るところから言語化する。

例→「先入観」学生たちは、日本で自分たちが外国人として体験した日本人からの「先入観」で捉えられた体験を話し始めた。また、自分が人や物事について抱いた「先入観」について話した学生もいた。グループで20分ほど話し合い、そのグループでのその言葉の定義を一文でまとめる。

【手順③】

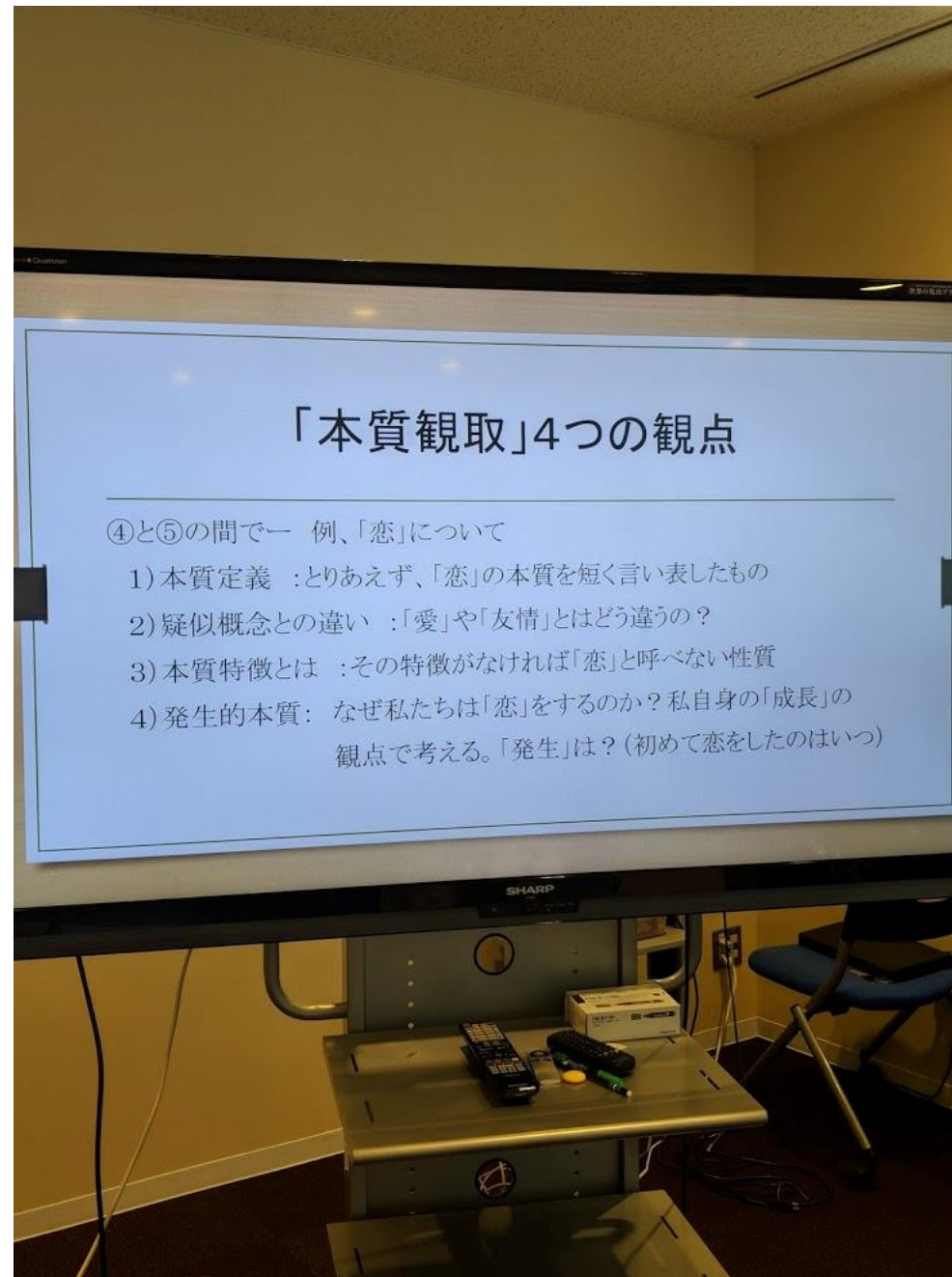
5. 全体で各グループの語の定義をシェアする。
グループの代表者を決め、なぜその定義に至ったか、説明する。
グループの代表者以外の者は、後から補足の説明をする。
6. 複数のグループの定義を教師が板書し、最後にクラス全体で話し合いを重ね、もっともクラス全員の共通の理解を得る解を考える。

実践例：某大学の英語学位プログラムの日本語コース
上級1 および2
(2019年10月～11月)

トピック「恋」

「本質観取」の4つの観点

- 1) 本質定義：「恋」の本質を短く言い表す。
- 2) 近接（類似）概念との違い：「愛」や「友情」とはどう違うのか？
- 3) 本質的特徴とは：その特徴がなければ「恋」と呼べない性質とは何か
- 4) 発生的本質：自分の「成長」の中で「恋」の体験を考える。
初めて恋をしたのは、いつ？



「恋」の本質観取

もう一つのグループ



日本語の語彙が出てこない時は英語やその他の言語で。学生は母語、英語、日本語を行ったり来たりしながら、お互いにヘルプしあう。

私（教師）は2つのディスカッションを行き来しながら、学生の言いたいことを補う日本語の語彙をアドバイスする。

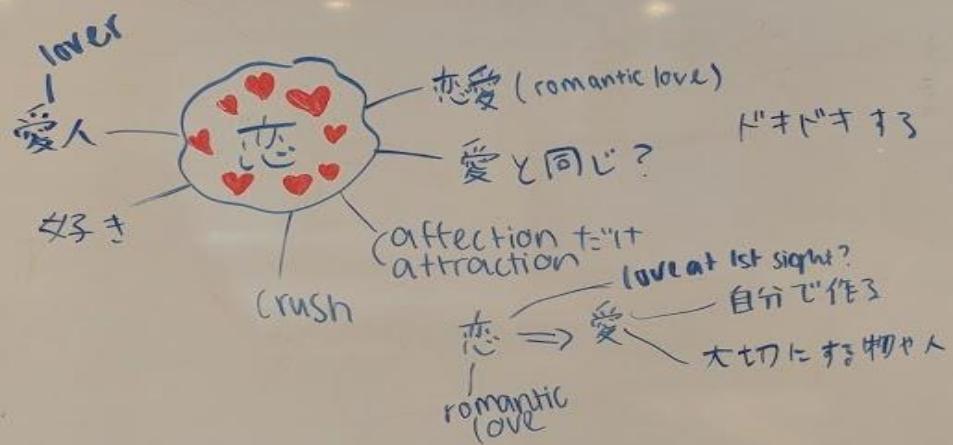
「恋」の本質観取：例

「恋は愛とちがって、ロマンチックで、その人がいないとさみしくなって、その人のわるい点をゆるせるし、その人のおかげで毎日がんばれる。」

The whiteboard contains the following handwritten content:

- Top Center:** A heart shape with the characters "恋心" (Love Heart) written inside. Above it is the phrase "心がドキドキ" (Heart is pounding).
- Left Side:**
 - "愛 VS 恋心" (Love VS Love Heart)
 - Under "愛": "ふかい かんじり / Love their soul / 見ためだけ" (Deep feeling / Love their soul / Just for appearance)
 - Under "恋心": "たんで? / Hormoneのせい? / ののせい? / あいてとまう / いはん / せうかく" (Why? / Because of hormone? / Because of...? / Meeting and staying / I hate / Shameful)
- Right Side:**
 - "恋人" (Lover) → "ロマンチック" (Romantic) → "これは愛とちがう" (This is different from love)
 - "Jealous / やきもち" (Jealous / Jealousy)
 - "心にかんじる" (Feel in the heart) → "うき" (Foolish)
 - Notes: "あいてをまじりたい" (I want to mix with you), "ふつうの人とちがう / まじりたげる (Special女)" (Different from ordinary people / I want to mix with you (Special girl)), "その人のおかげでせいせい / 楽しい。" (Happy because of that person. / Fun.), "恋人のためなら、たが / Sacrifices / せいでできる。" (For the sake of the lover, I can do anything. / Sacrifices / Can be done because of it.)
 - Bottom right notes: "自分のことを先にしがい。" (Put yourself first.), "その人のためにかんじる" (Feel for that person), "あいてにおこらない / わるいことあっても" (Don't get angry with you / Even if it's a bad thing)
 - Bottom right cloud: "Rose colored glass / 100色の目で見える" (Rose colored glasses / See in 100 colors)
 - Bottom right note: "いい点に見られる。" (Be seen in good points), "わるい点見えない、あいてをきかつかない" (Can't see bad points, can't hear you)
- Bottom Center:**
 - "恋人と友人 / なにかちがう?" (Lover and friend / What's the difference?)
 - "恋人はいつかいしに / いた" (Lover will eventually disappear / was there)
 - "友だちからはじまる / の多い。" (Starts from friends / many.)
 - "One sided love / かたおもい" (One-sided love / One-sided)
 - Small drawing of two stick figures, one with a heart and one with "NO" above their head.
 - Bottom right note: "ロマンチック (かごと、友人はちがう。愛)" (Romantic (because of, friend is different. Love))
- Bottom Left Box:**

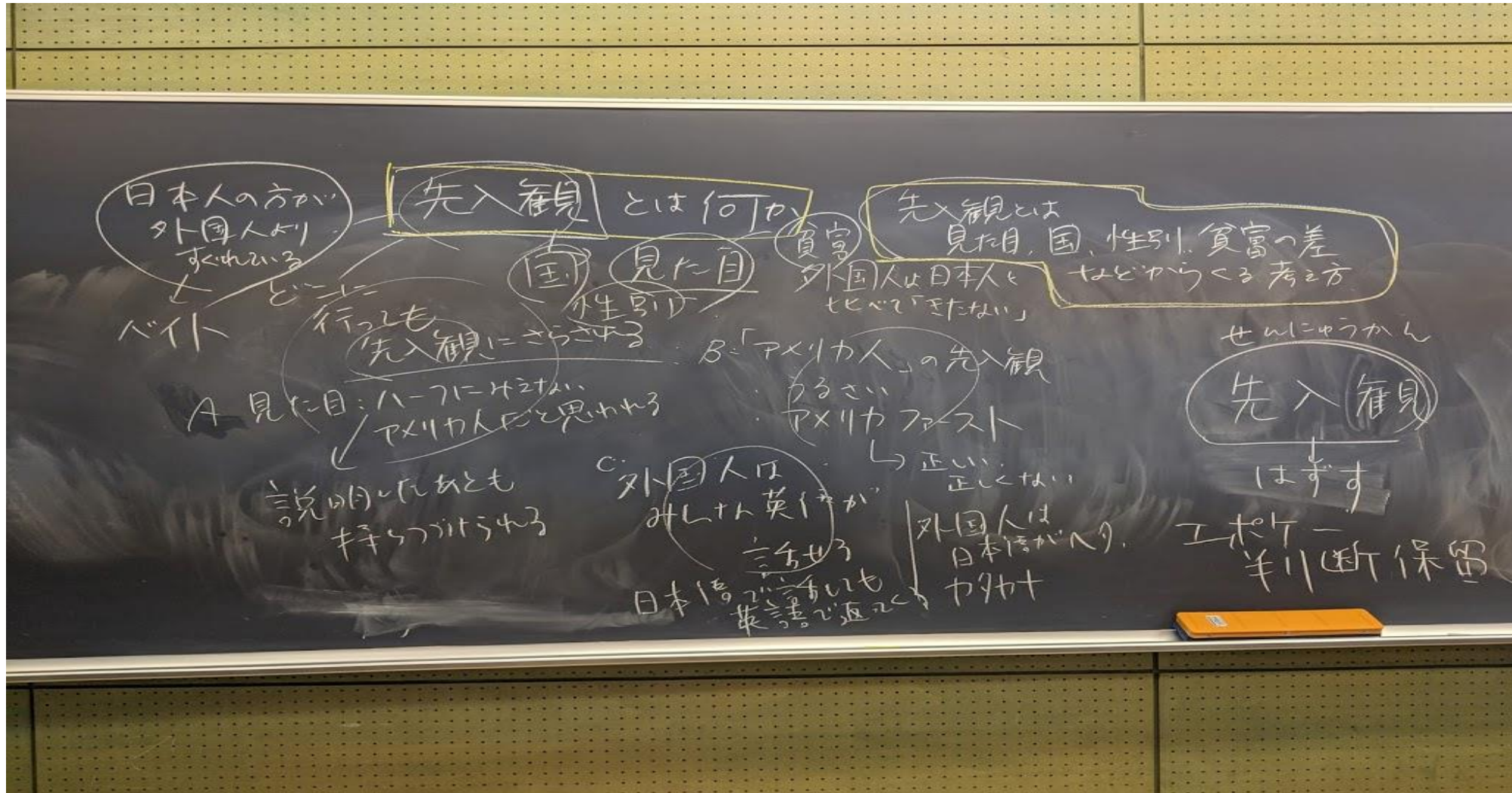
恋心は愛とちがって、ロマンチックでその人がいないとさみしくなって、その人のわるい点をゆるせるし、その人のおかげで毎日がんばれる。



日本語や英語、その他の言語を
往還しながら、複言語空間で「恋」
の本質に迫る！

例2：「先入観」板書例

上級2. 9人。3人×3グループ



オンライン授業でも実践可能

- 2020年4月～前任校ではすべての授業が
全面オンライン化
- 上級1、2のクラスで引き続き「本質観取」の活動を行う。
- コンセプト、手順はほぼ同じ。ZOOMのブレイクアウトセッションを利用し、学生をグループに分けて本質観取を実施。
- あつかったトピックは
「夢」「家族」など

対面授業と比べてー

- ブレイクアウトセッションでの話し合いの可視化がしにくい
- 最後のクラス内共有の話し合いの板書がしにくい
(議論が十分に可視化できなかったー教師の力量不足)

まとめ：本質観取の意義

- ▶一つの日本語の語の意味を徹底的に自分の体験を内省して言語化し、その過程で自分の母語その他の言語を参照したりしながら、クラス内の他の学習者にとってのその語の「意味」も参照して、その概念の本質について、理解を深める。



日本語の授業のみならず、多様な言語教育の授業で実践可能。
複言語教育の実践として、本質観取の活動は有効

- ▶対話に参加した者同士の間人理解も深める。
 - 言語の意味本質への徹底した考察と同時に、言語の使い手同士の深い次元での相互理解への道が開かれる



価値観の異なる人々が信念対立を乗り越えて「共に生きる」ための日本語教育（言語教育）の実践として、意義のある実践である

本質観取の言語教育における意義

異なる言語文化背景を持つ人々が日本語、その他の言語で**対話**しつつ、内省によって自分の「**思い込み**」を**いったんエポケー**することによって認識の違いを乗り越え、**お互いが納得できる意味理解（普遍認識）に至る**。みんな違うけれど、何かしら共通普遍に妥当だ、と思える概念は作り得る。→共に生きる社会のルールを創り出すことの可能性。例：「正義」の本質観取

自由の相互承認の精神に基づく、共通理解の成立を目指す言語教育



共生社会のための言語教育/日本語教育

パネル発表①「共生社会のための日本語教育」

以上で、本パネルの発表を終わります。

①細川英雄「目的論の不在を乗り越えるための共生社会とWell-being」

②金泰明「共生社会と二つの人権原理」

③杉本篤史「日本語教育と言語権」

④稲垣みどり「日本語教育における「本質観取」の実践について」

日本語教育は、言語教育は、いったい何を目指すべきか。

「共生社会」の社会構想の枠組みの中で、これからのあるべき日本語教育の輪郭を描いた。今後一層、「社会構想としての日本語教育」の地図、それを支える思想的な価値理念、哲学が必要となる。

本パネルをご視聴いただきまして、

ありがとうございました！